

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		令和8年 3月14日		
放課後等デイサービス たんちゃん 蓬莱教室						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・部屋を分け、適切に活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・一部屋ずつ職員が配置されるように連携をとっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・事業所玄関は、バリアフリー化され車いす可能。出入口に段差はない。 ・所持端末やスケジュール等、視覚支援を行っている。 ・タイムスケジュールをホワイトボードで視覚的に分かりやすくしたり、部屋を分けて構造化されている。 ・視覚的に分かりやすく、提示物など設定している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日、教室内・外の清掃を行っている。 ・子どもたちと掃除をし、清潔になるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・子どもたちの状態に応じて環境設定を行っている。 ・クールダウンが必要な際は、職員が付き添い、別部屋へ移動している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・定期的に支援会議を行っている。 ・朝礼・終礼・会議等で目標設定、振り返りを行っている。	・引き続き、PDCAサイクルの実施と理解に努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・評価表は第1回目となっている。 ・モニタリングなど、家庭での様子や課題などを丁寧に聞き取り、支援会議にて職員と共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・支援会議では、活発に意見を出し合える環境がある。 ・定期的に管理者との1ON1を行っている。 ・職員全員参加の会議を行い、意見交換をしている。 ・日々意見交換をし改善をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・第三者による外部評価を行っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・研修は定期的に行っている。年間計画に沿って行っている。 ・職員それぞれが各委員会の担当になり、研修を行っている。 ・祝日に職員全員が集まり研修を受けている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・第1回公表日 令和7年12月8日	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・個別支援計画書作成のスケジュールをもとに、職員や保護者、相談支援員とのモニタリングを行い、作成している。 ・子どもたちの様子に合わせて作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・個別支援計画書（原案）をもとに、個別支援会議を行っている。 ・子どもたちの最善の利益を考慮し計画を作成している。 ・モニタリング前に職員全員で話し合いが行われている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・個別支援計画書（原案）をもとに、個別支援会議を行い支援に活かしている。 ・計画を共有し、それに沿った支援ができるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・フォーマルなアセスメントを参考にしながら、日々の活動の様子を観察し、支援を行っている。 ・日々の行動からの評価を行い、職員間で共有している。 ・それぞれ職員がアセスメントし次につなげている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・児童発達支援ガイドラインをスタッフすべてがいつでも確認できる場所に置き、理解を促している。内容を踏まえ、支援を行うようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・チームで行っている。 ・定期的に活動内容等の打ち合わせを行っている。 ・毎月、職員同士意見を出し合って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・スタッフそれぞれが、様々な提案をしている。 ・情報を調べ、新しい活動を取り入れるよう心掛けている。 ・毎日、違うプログラムを提供している。 ・柔軟に活動を設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・専門性を取り入れながら、個別活動や少人数活動を適宜組み合わせ支援を行っている。 ・児童発達支援計画書と専門的支援計画書を作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝礼を行い、翌日の支援内容も含め確認している。役割が決まっており、チームで連携し支援を行える体制を整えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・終礼を行い、利用児童の振り返りを行っている。課題等は、ケース記録の残し、次回の会議にて課題を話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・ケース記録を残し、次回の会議にて検証・改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・相談支援員と共にモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	・日常生活の充実と自立支援のための活動・多様な遊びや体験活動・地域交流の活動・こどもが主体的に参画できる活動を念頭に置きながら、様々な組み合わせを行い支援を行っている。 ・総合的に組み合わせ、支援を行うようにしている。	・放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」の理解を進めながら、引き続き様々な活動内容を組み合わせながら支援を行っていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5		・様々な活動の中で自己選択できる環境を設定している。 ・普段の活動、トラブルが起きた際など、自己決定できる言葉をかけ、育んでいる。 ・選択する活動や子どもが意見を出し合う活動を取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・相談支援事業所、学校、福島市教育委員会SSWなどと連携し支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校との下校時刻や連絡調整は丁寧に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・相談支援事業所を通して、資料をいただいている。	・開所後初となる、4月に小学校へ入学する児童に対しては、移行に向けて園との情報共有を行っていく予定。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		・今年度、卒業時はないが、移行の際は情報を提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	・福島市 児童発達支援センターとの連携を図り、助言をいただいている。	・今後も積極的に連携を図り、助言を頂いていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・積極的に地域との交流を図っていく。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		・積極的に参加していく。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	・連絡帳や公式LINE、送迎等を通し、保護者との情報共有を行っている。	・引き続き、保護者との情報共有を丁寧にやっていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・スケジュールの切り替えが難しい児童など、家庭と連携し支援プログラムを行っている。 ・研修などは行っていない。	・保護者との交流の場を検討している。（GW予定）
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	5		・契約時に丁寧に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・モニタリングを行い、本人やご家族の意向を聞き取っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・個別支援計画書を作成し丁寧に説明をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・保護者との面談や公式LINEを利用して相談や助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		・保護者との交流の場を検討している。（GW予定）
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	・相談や申し入れがあった場合は、速やかに対応している。	・引き続き、迅速丁寧に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・Instagramにて児童の様子を毎日配信している。 ・定期的に「たんちゃん便り」を発行している。 ・遊難訓練や遊難場所等を保護者に連絡帳や書面にてお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵付き書庫にて保管している。 ・外部に漏れることがないように注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・タイムスケジュールや活動内容など、視覚支援を行っている。 ・感情カードを準備し、本人の意思や気持ちを表現できるようにしている。 ・保護者に対しては、公式LINEで伝えると同時に、必要の際は書面にてお伝えしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		・地域行事に参加するなど、今後地域との連携を図っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・年間計画を立て研修・訓練を行っている。	・丁寧に情報共有を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・業務継続計画を策定し、年間計画に沿って研修・訓練を行っている。 ・避難訓練を子どもたちと実施して非常時を意識できるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・職員間で情報共有をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・アレルギーについて研修を行ったり、分かりやすく提示したりして把握できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画委員会を設置している。 ・年間計画を立て研修・訓練を行っている。 ・安全計画を作成し、研修などで職員間で把握し、支援できるようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・緊急時や非常災害時のマニュアルを策定し、遊難場所等を書面にてお知らせしている。 ・感染症対策委員会を設置している。 ・感染症など、事業所内のまん延防止についてお知らせを行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・定期的にヒヤリハットを共有し、再発防止の検討会を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止委員会を設置し、年間計画を立て研修を行っている。	

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・身体拘束適正化委員会を設置している。	
----	--	---	--	---------------------	--